

平成27年度

認可保育所

法人名称	社会福祉法人つぼみ会
事業所名称	東田端保育園
事業所所在地	東京都北区東田端2丁目13番2号 101号室
事業所電話番号	03-3893-1137

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類社会の進歩発展に貢献すること。 ・優秀な人材の確保、育成。(自分の目で見、自分の足で確かめ、自分の頭で考え、自分の意思を責任を持って言葉で伝えられるグローバル社会でも豊かに生活出来る社会人。) ・子どもの主体性を育む魅力ある園作り(ハード、ソフト) ・フィールグッド・ステイト(保護者にとって) ・多様性を寛容、包摂

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・子どもの生活を大切に環境を整え、一人ひとりの状況に応じた配慮に努めながら、それぞれの力を引き出す保育の実践にあたっている
子どもが主体的に生活が送れるように、室内では子どもの発達段階やその時の興味を踏まえ、個別・集団での遊びができるようなコーナーを設定し、遊びを通じてさらに探究したり、友達と一緒に遊びが發展できるような環境を整えている。また乳児は担当制や空間の配慮を行いながら、愛着関係の構築と安心して生活できる環境を整え、子どもの意欲や気持ちを尊重しながら個々の特性や生活リズムに応じた援助に努めている。これらの生活の中で子どもの力を信じ、それぞれの力を引き出す保育の実践にあたっている。
- ・理念を踏まえた多彩な保育活動によって子どもがグローバル社会で豊かに生活することができる基礎を育んでいる
専門講師による活動では体力・運動能力の向上を促すほか、コミュニケーション能力や社会性を高めている。日本の伝承文化も大切にしており、わらべうたによって歌の心地よさを知り、情緒の安定につながるほか、茶道では挨拶や所作などのマナーを知る機会となっている。さらに園内での異年齢での関わり、地域の方や他園児とのさまざまな交流などで社会性の発達を促し、郷土食・国際食の提供などで文化の多様性に触れるなど、理念を踏まえた多彩な保育活動によって子どもがグローバル社会で豊かに生活することができる基礎を育んでいる。
- ・地域の子育てを支援する多彩な取組を行うとともに、その広報も積極的に実施し、利用促進にも努めている
地域への子育て支援として、一時保育・出前保育、誕生会や運動会などの園行事開放、園庭やプール開放などの保育所体験、身体測定や離乳食・給食試食会、育児・栄養相談など、さまざまな活動を展開している。またこれらの実施予定と子育てに役立つ情報を定期的に発信する子育て情報紙「がったんCocco」に作成し、来園者への配付のほか、近隣の小児科・歯科や公共・商業施設など地域の子育て世帯が利用する各所での常置、園の門扉横での掲示など、積極的な広報にも努め、利用の促進に取り組んでいる。

さらなる改善が望まれる点

- ・理念に掲げる保育実践をさらに深めつつ、保護者との相互理解や組織内の規範・保育観の共有に取り組むことを期待したい
従来からの区立施設としての理念・方針等に加え、今年度より法人・園が掲げる独自の保育理念・方針や実践を運営や現場に採り入れている。そうした過渡期ゆえの課題として、保育内容や子どもへのさまざまな活動・体験の提供のあり方などについて、利用者調査結果からはさらなる理解共有の必要性も示唆されている。また訪問調査時には子どもへの接遇などにおいて、園の掲げる理念等との整合

に鑑みてさらなる配慮が望ましいと思われる場面も一部見られ、目指す保育のあり方の実現に向けて、組織内及び保護者とのさらなる認識共有の工夫が課題と思われる。

- 職員間の共通認識や保育実践の充実につなげるための、教育・保育課程と指導計画とのさらなる連動に向けた工夫も検討されたい

教育・保育課程は園の現状や方針に即した内容として適宜改訂を行い、これに基づいて年・月・週の指導計画が作成されている。計画は養護と教育の両面を踏まえ、ねらいや配慮などを記載して実践へとつなげ、評価反省によって次の計画への反映を行えるようにしている。ただし、教育・保育課程と指導計画との整合という観点からは、さらなる向上が望まれる点が一部見受けられた。今後は保育ソフトウェアの活用の在り方等、職員間の共通認識を図りながらも、さらに各計画の連動が高められるような工夫も検討されたい。

- さらなる園としての成長と発展に向け、課題解決のための中・長期及び各年度の計画の整備・推進が期待される

経営母体である法人を構成する一施設として、また地域の保育・福祉の増進に寄与する公設民営園として、人材の確保・育成と処遇向上、今年度から本格開始した園独自の保育やその理念・方針等の内外への周知などを重点課題としている。園にとっての重要な転機を迎え、さらなる組織としての成長と発展に向けて、必要な取組の明確化やそれらを反映した中・長期的な計画の策定を視野に入れている。毎年度の事業計画とも連動させ、段階を踏んで着実に課題解決を図るための仕組みの確立が待たれる。

事業者が特に力を入れている取り組み

- ★ 「事故発生防止委員会」を中心に安全な保育提供に向けて注力している

昨年度園庭にツリーハウスや「びっくりやま」を作るなどの整備を行い、そこで子どもたちが安全かつ主体的に遊ぶ様子を職員が見守れるように、今年度「事故発生防止委員会」を設置し、安全な保育提供に向けて注力している。危険予測、ケガの分析・対策を目的に設置した同名の会議を毎月開催し、各クラスから報告される事故等を集計し、環境設定や遊び方などの対策を職員会議で報告して必要な配慮を共有している。また園庭の場所別に職員の立ち位置を示した「3点注視の立ち位置表」を作成したほか、安全に関わるマニュアルの見直しに取り組んでいる。

- ★ 就労環境の改善や保育観・職業観の共有による組織力の向上と発揮を図っている

人事考課制度を今年度導入し、各人の貢献や成長・参画意欲などの評価を人材育成や処遇にも反映させる仕組みを開始している。また同制度の運用を通じ、求める能力指標を明確にし、各職員に行き渡らせることで、組織内での保育観や職業人としての価値観の共有にもつなげようとしている。さらに業務内容の見直しと定時退勤の奨励によってワーク・ライフバランスを組織として確立することにも努めるなど、働く場・保育実践の場としての環境向上による組織力の向上と発揮を推進している。

- ★ 外遊びによる丈夫な身体づくりや身近な事象への探究心等が培われている

園庭には「びっくりやま」「くぬぎのおうち」など子どもに魅力的な環境を整え、順番を守ったり、子ども同士で空想を広げて遊ぶほか、相手の気持ちを知る機会となったり、年上の年齢の子どもへの憧れから模倣をするなど年齢相互の育ちが自然と培われている。また勾配の昇り降りしながら、足腰の発達やバランス感覚の発達が促されたり、ボール遊びや鉄棒なども取り組めるなど、発達段階に応じて身体機能が高められている。さらに園庭や散歩先などで発見した身近な事象から興味が発展し、自分で考えて調べたり、その後の活動へとつながっている。

利用者調査結果

調査概要

- **調査対象**: 調査開始時点での本園の利用世帯104(在籍児童数120)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。
- **調査方法**: アンケート方式
調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。
回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。
- **利用者総数**: 104人
- **共通評価項目による調査対象者数**: 104人
- **共通評価項目による調査の有効回答者数**: 58人
- **利用者総数に対する回答者割合(%)**: 55.8%
- **調査項目**: [共通評価項目](#)

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	94.0% どちらともいえない:3.0% いいえ:1.0% 無回答・非該当:0.0%
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	84.0% 6.0% 8.0% 無回答・非該当:0.0%
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	81.0% 15.0% どちらともいえない:3.0% いいえ:0.0%
4. 安全対策が十分取られていると思うか	50.0% 34.0% 13.0% 無回答・非該当:1.0%
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	70.0% 22.0% いいえ:3.0% 無回答・非該当:3.0%
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	70.0% 24.0% 5.0% 無回答・非該当:0.0%
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	81.0% 12.0% 5.0% 無回答・非該当:1.0%
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	77.0% 15.0% 5.0% 無回答・非該当:1.0%
9. 職員の接遇・態度は適切か	75.0% 13.0% 10.0% 無回答・非該当:0.0%
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	81.0% 12.0% 6.0% 無回答・非該当:0.0%
11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	53.0% 25.0% 5.0% 15.0%
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	79.0% 15.0% いいえ:1.0% 無回答・非該当:3.0%
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	74.0% 8.0% 15.0% いいえ:1.0%
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	56.0% 31.0% 10.0% 無回答・非該当:1.0%
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	67.0% 12.0% 5.0% 15.0%
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	27.0% 17.0% 10.0% 44.0%